

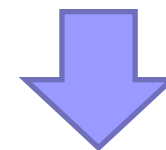
AIを活用した避難所避難者数の推移と必要物資の予測

発表者：浜松市危機管理課

情報共有の場で避難者推移、必要物資などを協議



- ✓ 令和6年能登半島地震 本市は珠洲市支援
- ✓ 災害マネジメント総括支援員（GADM）として国・県・対口支援等の団体を協議・調整
- ✓ GADMとして災害発生の直後に特に重要と考えたのが
 - ① 避難所運営
 - ② 物資調達・在庫管理・発送
- ✓ 人命救助は、消防、警察、自衛隊が主体的に行動してくれるあとの建物調査はすぐにスタートしなくていい

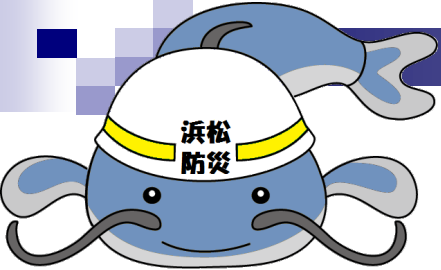


今後、

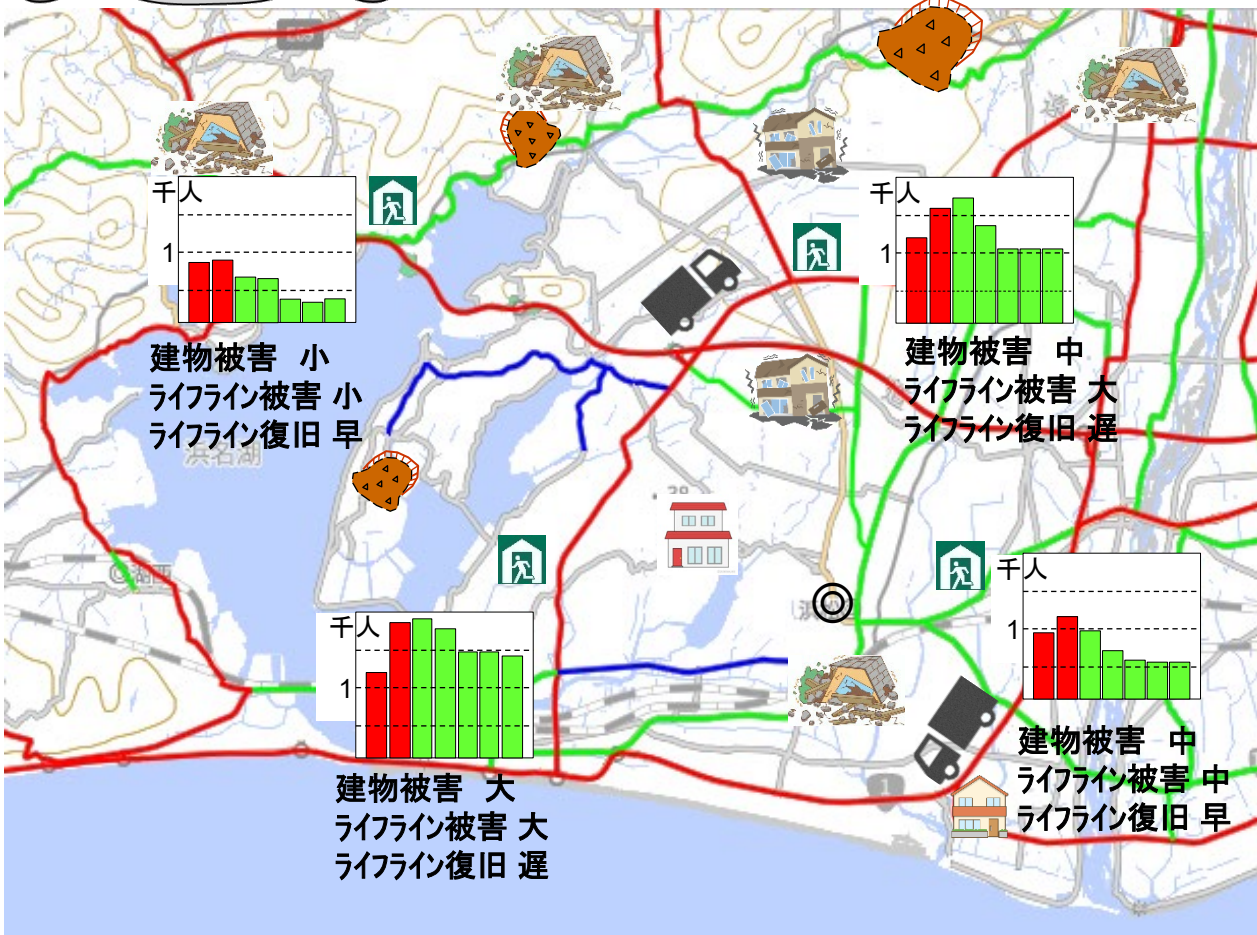
- 避難所避難者がどのくらいいて
- どのように増えていくのか
- どのくらいの物資が必要になるのか
- それをAIを活用して予測することで、効率的な支援に繋がたい



通れる道路、地域人口、避難者推移を「見える化」



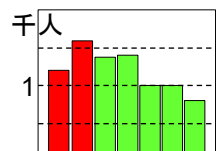
AIを活用した避難所避難者数の推移と必要物資の予測



◎ 市町村災害対策本部

避難所

土砂災害箇所

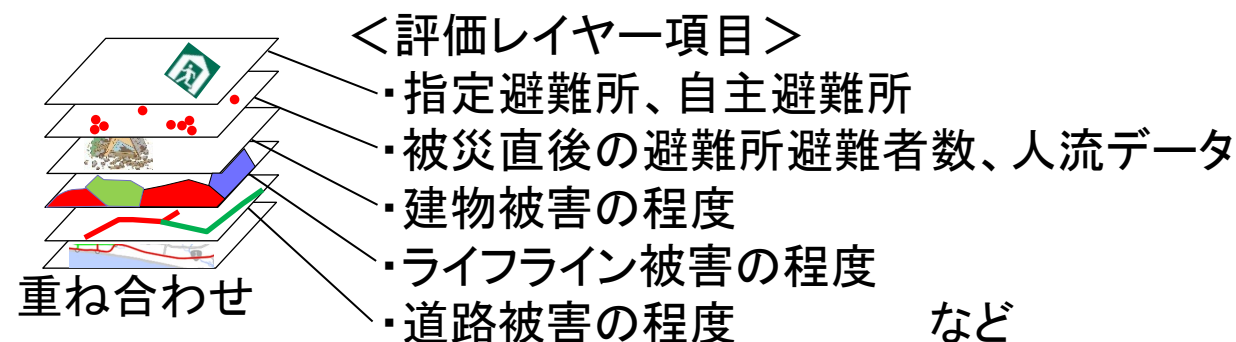


避難者数
1週間推移
赤:実測 緑:予測

建物被害箇所

緊急
輸送路

- 発災から1週間は、避難所避難者数が建物被害やライフライン（電気、ガス、水道等）の被害・復旧状況によっては、時々刻々と変化する
- この中で市町村災害対策本部は必要量の物資確保をしなければならない



AI分析
Ai
予測

道路、ライフラインの復旧の程度

×

1週間までの避難所避難者数

||

必要な物資量

先手を打った物資発注・調達、運搬を実施